

安田秀蘭 （しゅうらん） 評論家、女子教育家。明治六年生れ、大正十四年二月七日歿（八七三—一九五）。本名靖子、初名麿。神戸女學院卒。結婚後は教師の夫の任地に從ひ、大分縣立高等女學校、朝鮮の京城女子技藝學校で教職、大阪のパール女學校在職中病歿。

夙つとい文章を能くし、殊に福島田郎主宰の週刊婦女新聞』では、創刊以來二十餘年い互に常連執筆者として知られた。併せてその餘の諸雜誌に著した中から、論説、隨筆、紀行等を新聞八百餘頁に收めた。『秀蘭遺稿』（徳野眞土編、大正十五年四月一日婦女新聞社）が刊行せられた。生前の著書は『家庭教育の實際』（明治四十二年刊）。

